



慈光

第104号

令和2年12月



編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウェルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



「制限ある暮らしの中で必要なこと」

ケアハウス園長 志 釜 幸 喜

2019年末に中国武漢で発生した新型コロナウイルスは、2020年に入り世界的に流行しまだまだ収束には時間がかかりそうです。3月以降「外出自粛」や「緊急事態宣言」、「三つの密の回避」や「新しい生活様式の推奨」など私たちの生活は大きく変わりました。今ではマスク無しでの外出は出来ませんし、もしマスクを忘れたら不安にかけられ自宅に戻ることになります。

慈光園では、職員のマスク着用、手指消毒、責任ある行動を徹底し、除菌装置の導入や面会一部制限の実施など基本的対策を実施しています。

しかし利用者の方からも職員も気付かないうちに様々な不安やストレスを抱え込むことになっていると思います。ですから今できることを実施して少しでも安心、安全で快適な生活をしてほしいと願っています。

慈光園ではスカイプなどSNSを利用したオンライン面会を実施しており、感染拡大地域にお住いのご家族にはご

利用いただいています。更に一律的に面会を制限するのではなくその時々々の事情を考慮し面会も判断しています。また行事においては、今年の夏は夏祭りを行いました。利用者の方と職員だけでしたが、夏の夜外に出て盆踊りや黒獅子舞を楽しんでいただきました。実施することについてはその時々々の状況を考慮し慎重な判断をしました。利用者の笑顔をみたとき、実施して本当に良かったと思えました。その他の行事なども様々な工夫をしながら行っています。

コロナウイルス感染防止のため「禁止する」「何もしない」のは簡単なことです。慈光園の利用者の方が家族の顔を見れるという当たり前の暮らしをしてほしいと願っています。そのために慈光園は工夫や努力をして参りますので、ご家族様、地域の方のご協力をお願いいたします。

新型コロナ感染防止のため、
対策をしっかりと行い、
入所者様と職員のみで開催しました。



職員・ご利用者で黒獅子舞
頑張りました！



慈光園夏祭り



ご利用者の皆さんが
笑顔で楽しめました。



普段と違った楽しいひと時を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

敬老祭

おしょうしな〜

職員一同、心を込めてお祝いさせていただきました。



いつまでも
お元気で



動画配信しました！

秋祭り

青空のもと、開催しました。



感染症の影響もあり、久しぶりに外で過ごし、気分転換ができました。

県老協「ふっとふりカエル 介護エピソード」

山形県老人福祉施設協議会
峯田会長賞受賞

短期課 山口 知 加



今般のコロナ禍の影響によって、私たち福祉職員も『マスク着用』が必須になっています。その環境下で、部署内職員よりふと、「いつもマスクしているけど、ご利用者に私たちの笑顔は伝わっているのか」と素朴な疑問が生まれました。マスクをしていると言葉も伝わりにくく、顔の表情が見えないため不安な気持ちを与えているかもしれません。そこで、職員が利用者に笑顔を届けたいという熱い思いが詰まった「笑顔が見えるマスク作り」を行いました。口元だけが見えるもの、市販の物だけではなくフィルムを使って利用者の意見を聞きながら作り上げていき、会話も増えとても楽しく取り組むことが出来ました。先が見えないマスク着用生活ですが、これからもご利用者の温かみを感じながら笑顔を届けていきたいと思っています。

文化祭

入所者様の健康と安全を第一に考え
入所者様と職員のみで開催しました。

目うつり
しちゃう



入所者様の多彩な
作品がたくさん！



うまそー



どれに
しようかなー



コロナの影響で制限はありますが、入所者様の変わらぬ笑顔がここにあります。

有事に備えて



慈光園では、消防法・消防計画書に基づき毎年防災訓練を実施しております。内容としては、火災と土砂災害を想定した訓練で、火災については①確実な通報②利用者の人命保護③災害拡大防止措置の習熟、また土砂災害については、迅速かつ円滑な避難誘導強化を図ることを目的としております。

近年、台風や集中豪雨による高齢者施設の被害が多発しており、慈光園(ケアハウス)でも平成25年と26年に続けて水害(床上浸水)に見舞われ、その経験から改善点等を生かした訓練を行っております。

「特別養護老人ホームといった高齢者施設では、避難に時間と人手を要するため、避難の判断、移動体制が重要となります。」



災害がいつ起こるかわからない状況においては、日頃の訓練の積み重ねがご利用者の安心・安全に繋がります。これから職員一人ひとりが防災意識を高めながら、災害への備えを行っていきたいと思っております。



慈光園での取り組み

新型コロナウイルス
…感染対策…

ご利用者の安全を守るために

●感染経路の遮断

《面会において》

面会中止や面会実施(一部解除)を厳格な制限をしながら随時状況に応じて的確に判断し対応しています。

《ご利用者の日常生活において》

毎日の検温、うがいと手洗いを実施しています。

《職員の感染対策》

朝夕の検温、マスク着用、手指消毒を徹底しています。

●物品の消毒

感染防止のため定期的な換気、共同物品使用直後のアルコール消毒や施設内定時のアルコール消毒を徹底しています。

●3密防止対策

定期的な換気や新型空気清浄機を購入・設置しております。集団ではお互いの距離を1~2mあけ対応しています。マスク着用し密接な場面とならないようにしています。

●防護具の管理

防護ガウン、フェイスシールド、手袋、消毒液など常備・備蓄しています。

●業務継続計画(BPC)

万一当施設内で感染者が発生した際の「人命の保護」「施設継続」と「早期復旧」を可能とするため策定しています。

●職員研修

新型コロナウイルスについて、ガウンテクニック等

編集後記

年もおしせまり、何かと忙しい頃となりました。今号では夏祭りや文化祭など様々な行事の様子を掲載しました。新型コロナウイルスの流行により規模を縮小しての開催となりましたが、行事を通してご利用者様の楽しいような笑顔を見ることができ、職員一同喜んでおります。ご家族の皆様にも、「慈光」

にて元気な姿を見ていただき、ほっとしてもらえると幸いです。今後もお利用者様が安心して過ごせますようお願いいたします。新型コロナウイルス感染流行が終息し、一日も早く平和な日常が戻りますようお願いいたします。



広報委員

◎青木千賀子
○八木 珠美
梅津 智之
橋本 恵
梅津 千秋
佐藤 拓
土屋 睦美
佐藤 亨
梅津 愛美
佐藤 幸子
山口 綾香